第3次府中市生涯学習推進計画の体系図を検討するためのイメージ（案）

資料５

基本理念

人とコミュニティをはぐくむ文化のまち

基本目標（仮）

みんなで学び　みんなに返す　ひとと地域がともに育つ　『学び返し』のまち　府中

現状①

▶府中市の生涯学習活動は活発である。
・市内各公共施設での講座は多くの参加者を集めており、抽選となっている例も少なくない。
▶働いている人や新規参加者などが生涯学習活動に参加しにくい。
・日中市内にいない若年層、働き盛り層の参加が少ない。
※生涯学習センター、ルミエール府中、市民活動センター「プラッツ」など、施設の夜間開館自体は他市に比べ進んでいる。
・これまで生涯学習活動に参加していない層で、参加のきっかけがつかみにくいという声がある。
・健康面に不安がある高齢者などからは、近くの施設でないと通いづらい、気軽に参加できる講座を行ってほしいという声がある。
・育児中の人から、乳幼児連れでは参加しにくいという声がある。
▶広報・情報発信に不満がある。
・情報が取れていない、広報や情報発信が不足しているという声がある。

課題①

市民全体が生涯学習に参加しやすい環境づくりを進めることが必要

基本施策①

（みんなで学び）

誰もが学べる環境づくり

- **重点施策**：対象者向けモデル事業の実施
- **施策①**：対象者ごとの学習環境づくり
- **施策②**：気軽に参加できる学習環境づくり

現状②

▶「学び返し」の理念が定着していない。
・「学び返し」についての市民の認知が低い。
・施設の事業でも、「学び返し」を特別に意識して企画されているものはそれほど多くない。
・市として、「学び返し」についての広報が充分でない。
・登録サポーターやファシリテーターの育成は進んでいるが、活躍の場が充分に確保されていない。
・市の事業が各主管課により個別に行われており、「学び返し」の理念のもとに統一されていない。
・生涯学習活動は活発だが、市民活動、NPO活動、コミュニティビジネスなど「返す」活動団体の活動がやや低調に見える。

課題②

市全体に「学び返し」の考えが定着する施策を進めることが必要

基本施策②

（みんなに返す）

誰もが活躍できる環境づくり

- **重点施策**：「学び返し」育成モデル事業の実施
- **重点施策**：「学び返し」を市民に定着させる目玉事業の充実
- **施策①**：「学び返し」を実践する人材の育成や登用
- **施策②**：市民が活躍する場の拡大

現状③

▶生涯学習系施設同士が個々の連携となっている。
・各施設とも、他施設、団体、企業、学校等との連携を行っているが、個々の施設ごとの連携に留まっており、市内の生涯学習系施設同士の組織的な連携になっていない。
・個々の施設で他施設とのすみ分けを意識して事業企画をしてはいるが、施設同士の連携が弱い。
▶広報は「広報ふちゅう」のほか、施設それぞれの情報発信がメインとなっている。
・施設のホームページ、施設独自のチラシでの広報が中心で、市内の生涯学習情報をまとめた広報媒体の作成や窓口の設置をしてはどうかという意見があった。
▶恵まれた施設環境がある一方で、老朽化している施設も多い。
・府中市は生涯学習系施設の数も規模も周辺市と比較して非常に恵まれた状況にあるが、より細やかな点検や改修などの対応が必要になっている。
▶施設の利用しやすさを高めてほしいという声がでている
・高齢者など健康面に不安がある人から、より使いやすいようにして欲しいという声がある。
・育児中の人から、乳幼児連れでは参加しにくいという声がある。

課題③

生涯学習を推進するための基盤となる体制の整備や情報発信の工夫が必要

基本施策③

生涯学習を支える基盤の整備

- **重点施策**：紙とデジタル双方での広報の強化
- **施策①**：施設と事業との連携
- **施策②**：生涯学習の推進機能の充実
- **施策③**：安心・安全に利用できる施設の環境づくり